

農振除外に伴う地域計画変更内容（R7.10）

「地域計画の目標地図」から除外する農地等一覧

番号	変更場所	変更面積	地目		変更対象地区	目標地図	変更の内容
			登記	現況			
1	逢瀬町河内字下石田町68-7	3,038㎡	田	田	逢瀬地区 (河内本郷一)	505	担い手の追加
2	日和田町梅沢字衛門次郎原2番73	実測 1297.89㎡ のうち 709.49㎡	田	田	日和田地区 (衛門次郎)	804	「地域計画の目標地図」から除外
	日和田町梅沢字衛門次郎原2番74	実測 257.33㎡ のうち 220.86㎡	畑	宅地			
3	日和田町字向山40番29	1,892㎡ のうち 86.44㎡	田	田	日和田地区 (川坂)	811	「地域計画の目標地図」から除外
4	日和田町字向山40番29	1,892㎡ のうち 0.25㎡	田	田	日和田地区 (川坂)	811	「地域計画の目標地図」から除外
5	田村町岩作字四十坦69番	3,312㎡ のうち 742.92㎡	畑	畑	田村地区 (岩作)	1209-1210	「地域計画の目標地図」から除外
6	西田町高柴字福内26番1	1,520㎡ のうち 498.21㎡	畑	畑	西田地区 (高柴)	1317	「地域計画の目標地図」から除外
7	西田町高柴字福内26番1	1,520㎡ のうち 254.79㎡	畑	畑	西田地区 (高柴)	1317	「地域計画の目標地図」から除外

逢瀬地区

地域計画

策定年月日	令和7年2月27日
更新年月日	2025/11/ (第1回目)
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	福島県郡山市 07203
地域名 (地域内農業集落名)	逢瀬地区 (北郷、本郷一、本郷二、本郷屋敷、下郷北部、下郷南部、第一区、第二区、 上下白岩、第四区、第五区、別所、堀大、上山田原、下山新、久保原、赤南)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	1,146 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	1,146 ha
② 田の面積	979 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	164 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	51 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	118 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

逢瀬地区は、農業者の平均年齢66.92歳と高齢化が進み、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。

このため、分散する担い手の農地を集約化するとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

- ・遊休農地が増えているとともに、鳥獣被害(ハクビシン、イノシシ、サギ等)が増加してきている。
- ・農業の生産コストが上昇し、農業経営が困難となっている状況である。
- ・現在の担い手の中心層は60代～70代と若手の農業者が少なく、将来に向けて地域の農地を任せられる担い手の不足が予測される。
- ・キュウリを生産するギガ団地構想の設置エリアである。
- ・地区内に園芸振興センター(市の研修機関)がある。
- ・水問題が年々深刻となっており、現状農地を維持するための対応が急務である。
- ・GPSの受信が悪い部分があり、自動操舵技術などを利用できない場所がある。

【地域の基礎的データ】

農業者: 430人(うち50歳代以下49人) ※農林業センサス2020より

団体経営体(法人・集落営農組織等) 8経営体

主な作物: 水稲、露地野菜、施設野菜(キュウリ、トマト)、果樹(梨、ブドウ)、花木、畜産(肉用牛) 等

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

認定新規就農者等地域内の後継者の育成や、機械の共同利用なども積極的に検討していくことや、地域内で法人を設立することで後継者の確保を図るとともに、担い手への農地集約化のため、農業を担う者への農地再分配を進めることができるよう、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

地域の所得向上等の観点から、地域の話合いにより、ブランド化を図ることや6次化製品の開発等の当地区の特色を出す取組みを行うことを積極的に検討する。

また、他地区にはない逢瀬町の特色として、園芸振興センターやギガ団地構想のエリア等があり上手く活用していきたい。

- ・異常気象による水管理が年々困難となっており、関係機関の協力のもと、乾田直播栽培等の省略化を図ることや、輸出米等を地域で取組み地域での所得向上を図ることなど、地域農業を持続的にやりやすくするため、地域の話合いにより地域で行う事を検討を今年度から始めていく。
- ・基盤整備未実施地区については、整備が進められるよう地域内で話合いを進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、認定新規就農者、農業法人、集落営農法人)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	39.5	%	将来の目標とする集積率	80	%
--------	------	---	-------------	----	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

令和11年度 団地面積の拡大を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組

地域の農業を担う者に農地の集積・集約化をすすめ、団地面積の拡大を進めるとともに、農作業の省力化を図る。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

地区内の農地所有者が離農するなどの場合には農地中間管理機構等を活用し、機構に貸付を進めていく。

また、農業を担う者が何らかの事情により営農の継続が困難になった場合には農地中間管理機構の機能を活用して、新たな受け手へ農地の貸付を進め、農地が荒廃しないよう努めていく。

(3) 基盤整備事業への取組

基盤整備未実施の地区は、借り手がなく農地の遊休化が進んでいるため、将来に向けてほ場整備等の取組みを検討していく。多面的機能支払組織も活用し、農道・用排水路等の維持管理等を継続していき、担い手が効率的な農作業を行っていただける環境を整えていく。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

農地を次の世代に引き継げるよう、話合いの場を定期的に持ち、地区内の新規就農者・後継者・定年帰農者などの担い手等情報の共有(リスト化)を図るほか、地域ぐるみで技術などの支援を行っていく。集落内農業者だけでは農地の保全是難しいと判断した際には、集落外からの入作者について農業を担う者に加えていき、地域ぐるみで技術などの支援を行うとともに、担い手確保・育成に努める。

また、農業用機械や施設等の導入、更新等の際には補助事業等を活用するとともに、ライスセンターの活用や機械の共同利用なども積極的に検討していく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

地域内で農業支援サービス事業者等へ委託できる作業で可能なものがあれば順次委託することを検討する。

☒	①鳥獣被害防止対策	☒	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☒	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☒	⑧農業用施設	☒	⑨耕畜連携	☒	⑩その他

- ①鳥獣被害が拡大しないよう防止柵やワイヤーメッシュ等を設置に向け行政と連携し検討するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制構築を行うことや点検マップの作成を行い、遊休農地の解消に努める。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。
- ②地域内で環境に配慮した農業を積極的に取組んでいく。
- ③ドローン等のスマート農業を積極的に活用し、労力軽減・作業の省力化を推進していく。
- ⑤高齢化や担い手不足が進む中、園地継承も含め、果樹の産地として維持を図っていく。
- ⑦⑧多面的機能支払組織及び中山間直接支払組織等の活動を継続することにより、農道、用排水路等の維持管理を行い、効率的な農作業が出来る環境づくりを行っていく。
- ⑨耕畜連携(循環型農業)について、地域内で積極的に検討を進めていく。
- ⑩災害対策の取組方針
近年の気候変動による水害等への対策のため、多面的機能支払制度等を活用しながら、農地所有者を含めた地域全体の取組みとして掘払い等を継続して行い、田んぼダムについて共同で取り組みを進めていくことで減災に対する意識を高め、周辺地域への浸水等の被害を軽減していく。また、年々水不足も課題となっており、深刻となることが想定されるため、地域で乾田直播栽培等を行っていくことなど、地域での所得向上を目指した対応を地域で検討をはじめめる。

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	120経営体		313.5 ha	0 ha		431.9 ha	0 ha		

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 11 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託 面積	経営作物等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農 A	肉用牛(繁殖) + 施設野菜	1.9 ha	ha	肉用牛(繁殖) + 施設野菜	2.8 ha	ha		
2	認農 B								
2	認農 C								
2	認農 D	稲作	7.0 ha	ha	稲作	10.9 ha	ha		
2	認農 E								
3	認農 F	酪農	4.1 ha	ha	酪農	4.1 ha	ha		
3	認農 G								
4	認農 H	稲作 + 施設野菜	4.3 ha	ha	稲作 + 施設野菜	8.8 ha	ha		
4	認農 I								
5	認農 J	稲作	0.3 ha	ha	稲作	0.9 ha	ha		
5	認農 K								
5	認農 L								
6	認農 M	稲作+肉用牛	0.7 ha	ha	稲作+肉用牛	1.3 ha	ha		
6	認農 N								
7	認農 O	稲作	0.3 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha		
7	認農 P								
8	認農 Q	稲作	2.2 ha	ha	稲作	7.3 ha	ha		
8	認農 R								
9	認農 S	稲作	6.2 ha	ha	稲作	9.0 ha	ha		
9	認農 T								
10	認農 U	施設野菜 + 露地野菜	0.7 ha	ha	施設野菜 + 露地野菜	0.7 ha	ha		
11	認農 V	稲作	4.3 ha	ha	稲作	7.1 ha	ha		
12	認農 W	肉用牛(肥育)+稲作	0.0 ha	ha	肉用牛(肥育)+稲作	0.8 ha	ha		
13	認農 X	施設野菜	6.2 ha	ha	施設野菜	4.2 ha	ha		
14	認農 Y	稲作	0.0 ha	ha	稲作	2.9 ha	ha		
15	認農 Z	稲作	10.2 ha	ha	稲作	24.4 ha	ha		
16	認農 AA	肉用牛(繁殖)	0.5 ha	ha	肉用牛(繁殖)	0.5 ha	ha		
17	認農 AB	稲作	9.0 ha	ha	稲作	8.7 ha	ha		
18	認農 AC	稲作 + 露地野菜	2.7 ha	ha	稲作 + 露地野菜	2.4 ha	ha		
19	認農 AD	酪農 + 稲作	4.3 ha	ha	酪農 + 稲作	4.0 ha	ha		
20	認農 AE	酪農	3.3 ha	ha	酪農	3.3 ha	ha		
21	認農 AF	稲作	6.8 ha	ha	稲作	7.2 ha	ha		
22	認農 AG	施設野菜 + 稲作	2.0 ha	ha	施設野菜 + 稲作	1.9 ha	ha		
23	認農 AH	稲作 + 繁殖和牛	5.6 ha	ha	稲作 + 繁殖和牛	3.3 ha	ha		
24	認農 AI	酪農	1.7 ha	ha	酪農	2.1 ha	ha		
25	認農 AJ	稲作	0.9 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha		
26	認農 AK	稲作	3.0 ha	ha	稲作	3.0 ha	ha		
27	認農 AL	稲作	3.9 ha	ha	稲作	5.4 ha	ha		
28	認農 AM	稲作	1.4 ha	ha	稲作	2.2 ha	ha		
29	認農 AN	稲作	3.5 ha	ha	稲作	5.2 ha	ha		
30	認農 AO	稲作	3.0 ha	ha	稲作	4.7 ha	ha		
31	認農 AP	稲作	6.2 ha	ha	稲作	10.0 ha	ha		
32	認農 AQ	稲作 + 施設野菜	3.5 ha	ha	稲作 + 施設野菜	4.4 ha	ha		
33	認農 AR	稲作	2.6 ha	ha	稲作	3.2 ha	ha		
34	認農 AS	稲作	20.5 ha	ha	稲作	22.8 ha	ha		
35	認農 AT	稲作 + 施設野菜	3.7 ha	ha	稲作 + 施設野菜	3.7 ha	ha		
36	認農 AU	稲作	4.8 ha	ha	稲作	6.1 ha	ha		
37	認農 AV	稲作	0.1 ha	ha	稲作	1.3 ha	ha		
38	認農 AW	稲作	2.8 ha	ha	稲作	3.0 ha	ha		
39	認農 AX	稲作	0.6 ha	ha	稲作	0.6 ha	ha		
40	認農 AY	稲作 + 施設野菜	0.0 ha	ha	稲作 + 施設野菜	0.2 ha	ha		
41	認農 AZ	稲作	5.6 ha	ha	稲作	6.6 ha	ha		
42	認農 BA	稲作 + 施設野菜	4.5 ha	ha	稲作 + 施設野菜	4.5 ha	ha		
43	認農 BB	稲作 + 施設野菜	0.3 ha	ha	稲作 + 施設野菜	0.6 ha	ha		
44	認農 BC	稲作	2.2 ha	ha	稲作	4.1 ha	ha		
45	認農 BD	稲作	5.0 ha	ha	稲作	2.8 ha	ha		
46	認農 BE	稲作	7.5 ha	ha	稲作	7.6 ha	ha		
47	認農 BF	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
48	認農 BG	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.4 ha	ha		
49	認農 BH	稲作	1.1 ha	ha	稲作	1.1 ha	ha		
50	認農 BI	稲作	0.0 ha	ha	稲作	1.5 ha	ha		
51	認農 BJ	稲作	6.0 ha	ha	稲作	8.3 ha	ha		
52	認農 BK	稲作	0.7 ha	ha	稲作	0.7 ha	ha		
53	認農 BL	稲作	0.7 ha	ha	稲作	0.7 ha	ha		
54	認農 BM	稲作	2.1 ha	ha	稲作	2.7 ha	ha		
55	認農 BN	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
56	認農 BO	稲作	0.5 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha		
57	認農 BP	稲作 + 施設野菜	0.4 ha	ha	稲作 + 施設野菜	2.4 ha	ha		
58	認農 BQ	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
59	認農 BR	稲作 + 施設野菜	0.9 ha	ha	稲作 + 施設野菜	0.9 ha	ha		
60	認農 BS	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha		
61	認農 BT	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha		
62	認農 BU	稲作	0.5 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha		
63	認農 BV	稲作	0.0 ha	ha	稲作	1.2 ha	ha		
64	認農 BW	施設野菜 + その他(加工)	0.8 ha	ha	施設野菜 + その他(加工)	0.8 ha	ha		
65	認農 BX	稲作 + 露地野菜 + 施設野菜	0.0 ha	ha	稲作 + 露地野菜 + 施設野菜	1.5 ha	ha		
66	認農 BY	施設野菜	0.6 ha	ha	施設野菜	0.6 ha	ha		
67	認農 BZ	稲作	10.3 ha	ha	稲作	11.2 ha	ha		
68	認農 CA	施設野菜	0.9 ha	ha	施設野菜	0.7 ha	ha		
69	認農 CB	稲作	7.9 ha	ha	稲作	33.6 ha	ha		
70	認農 CC	稲作	19.8 ha	ha	稲作	23.4 ha	ha		
71	認農 CD	稲作+肉用牛(繁殖)	0.0 ha	ha	稲作+肉用牛(繁殖)	0.6 ha	ha		
72	認農 CE	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
73	認農 CF	稲作 + 露地野菜	2.5 ha	ha	稲作 + 露地野菜	2.5 ha	ha		
74	認農 CG	稲作 + 雑穀・いも類・豆類	12.8 ha	ha	稲作 + 雑穀・いも類・豆類	17.0 ha	ha		
75	認就 CH	施設野菜	0.5 ha	ha	施設野菜	0.5 ha	ha		
76	認就 CI	露地野菜	0.5 ha	ha	露地野菜	0.5 ha	ha		
77	利用者 CJ	稲作	2.8 ha	ha	稲作	0.9 ha	ha		

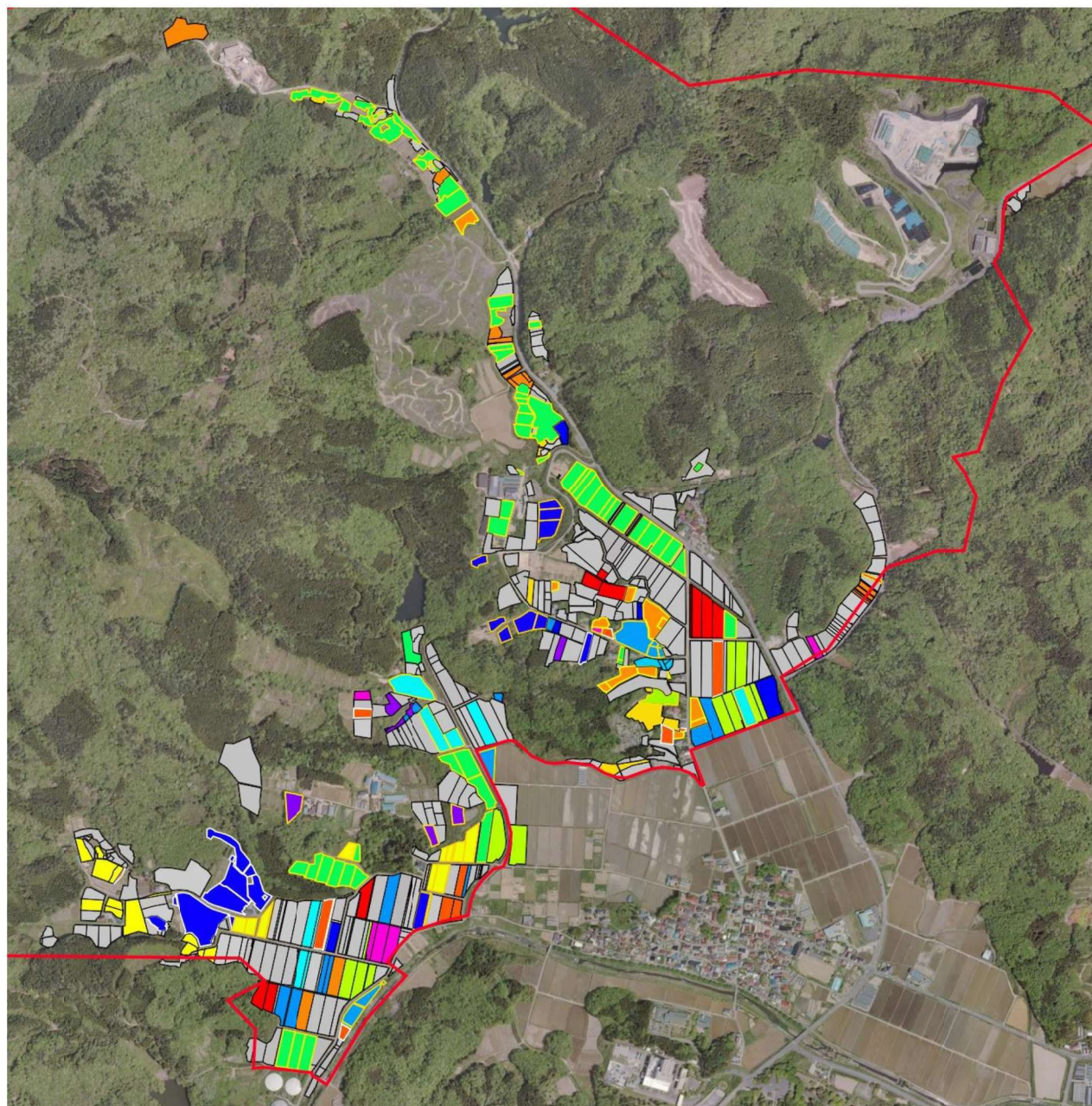
	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 11 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
78	利用者	CK	稲作	0.0 ha	ha	稲作	4.1 ha	ha		
79	利用者	CL	稲作	1.7 ha	ha	稲作	3.3 ha	ha		
80	利用者	CM	稲作	2.2 ha	ha	稲作	3.0 ha	ha		
81	利用者	CN	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.8 ha	ha		
82	利用者	CO	稲作	0.9 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
83	利用者	CP	稲作	4.1 ha	ha	稲作	4.3 ha	ha		
84	利用者	CQ	稲作	3.6 ha	ha	稲作	3.6 ha	ha		
85	利用者	CR	稲作	1.3 ha	ha	稲作	1.3 ha	ha		
86	利用者	CS	稲作	6.8 ha	ha	稲作	6.8 ha	ha		
87	利用者	CT	稲作	0.0 ha	ha	稲作	1.5 ha	ha		
88	利用者	CU	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
89	利用者	CV	稲作	2.8 ha	ha	稲作	2.8 ha	ha		
90	利用者	CW	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.6 ha	ha		
91	利用者	CX	稲作	4.0 ha	ha	稲作	5.6 ha	ha		
92	利用者	CY	稲作	0.1 ha	ha	稲作	1.1 ha	ha		
93	利用者	CZ	稲作	1.7 ha	ha	稲作	2.9 ha	ha		
94	利用者	DA	稲作	2.3 ha	ha	稲作	2.3 ha	ha		
95	利用者	DB	稲作	2.9 ha	ha	稲作	2.9 ha	ha		
96	利用者	DC	稲作	2.3 ha	ha	稲作	2.3 ha	ha		
97	利用者	DD	稲作	2.0 ha	ha	稲作	3.1 ha	ha		
98	利用者	DE	稲作	1.0 ha	ha	稲作	1.0 ha	ha		
99	利用者	DF	稲作	0.0 ha	ha	稲作	2.4 ha	ha		
100	利用者	DG	稲作	4.0 ha	ha	稲作	5.6 ha	ha		
101	利用者	DH	稲作	1.3 ha	ha	稲作	1.3 ha	ha		
102	利用者	DI	稲作	1.2 ha	ha	稲作	1.2 ha	ha		
103	利用者	DJ	稲作	2.1 ha	ha	稲作	2.1 ha	ha		
104	利用者	DK	稲作	2.2 ha	ha	稲作	2.2 ha	ha		
105	利用者	DL	稲作	1.8 ha	ha	稲作	1.8 ha	ha		
106	利用者	DM	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.6 ha	ha		
107	利用者	DN	稲作	0.9 ha	ha	稲作	0.9 ha	ha		
108	利用者	DO	稲作	2.0 ha	ha	稲作	3.4 ha	ha		
109	利用者	DP	稲作	1.7 ha	ha	稲作	1.7 ha	ha		
110	利用者	DQ	稲作	1.3 ha	ha	稲作	1.5 ha	ha		
111	利用者	DR	稲作	3.8 ha	ha	稲作	3.6 ha	ha		
112	利用者	DS	稲作	2.6 ha	ha	稲作	5.7 ha	ha		
113	利用者	DT	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
114	利用者	DU	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
115	利用者	DV	稲作	0.6 ha	ha	稲作	1.2 ha	ha		
116	利用者	DW	肉用牛	1.5 ha	ha	肉用牛	0.9 ha	ha		
117	利用者	DX	果樹	0.0 ha	ha	果樹	1.1 ha	ha		
118	利用者	DY	梨	2.1 ha	ha	梨	2.1 ha	ha		
119	利用者	DZ	大葉	0.0 ha	ha	大葉	0.1 ha	ha		
120	利用者	EA	梨	1.8 ha	ha	梨	1.8 ha	ha		
121				ha	ha		ha	ha		

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0505	逢瀬町	【プラン】逢瀬町河内（本郷一）	2025/9/18



■ 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討



日和田地区

地域計画

策定年月日	令和7年2月27日
更新年月日	2025/11/ (第1回目)
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	福島県郡山市 07203
地域名 (地域内農業集落名)	日和田地区 (宮ノ入、日和田第1、日和田第2、三本松、稲荷町、川坂、原、宮下、荒池山、 鶴番、久留米、高倉、下萱沼、上萱沼、梅沢、衛門次郎、八丁目)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	757 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	757 ha
② 田の面積	670 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	86 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	47 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	39 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

日和田地区は、農業者の平均年齢68.73歳と高齢化が進み、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。

このため、分散する担い手の農地を集約化するとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

また、地域内での新規就農者について確保及び育成をするためには、研修受入先が必要である。

- ・ 鳥害(スズメ等)被害や小型動物(ハクビシン、アライグマ、タヌキ、モグラ等)の被害がある。
- ・ 用水路の堀払い等の作業を農業者のみで行っており、年々困難になってきている。
- ・ 日和田地内で基盤整備をした場所は今から約50年前であり、未整備地区においては、土手の高低差(5m以上)が激しい場所多く、かつ、急勾配である。
- ・ 下流の場所においては特に水管理が難しい状況である。
- ・ 米の価格が現状維持されないと今後も同様に営農することが難しい状況である。

【地域の基礎的データ】

農業者:294人(うち50歳代以下22人) ※農林業センサス2020より

団体経営体(法人・集落営農組織等) 8経営体

主な作物:水稻、大豆、野菜(キュウリ、トマト、アスパラガス)、花き(久留米地区)、しいたけ(八丁目地区)

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

認定新規就農者等地域内の後継者の育成や、機械の共同利用なども積極的に検討していくことや、地域内で法人を設立することで後継者の確保を図るとともに、担い手への農地集約化のため、農業を担う者への農地再分配を進めることができるよう、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

また、地域の所得向上等の観点から、地域の話合いにより、ブランド化を図ることや6次化製品の開発等の当地区の特色を出す取組みを行うことを積極的に検討する。

地域農業において、農業を担う者の確保及び育成するため、研修受入先の拡充を図り地域で支援していく。

水稻については、特に作付けが効率よく作業できる環境を整えるため農業を担う者に位置付けてある者に農地の集積化を図るとともに、農作業が困難になった場合、農業を担う者に位置付けてある者に任せられる体制づくりを目指す。

花きについては、現在育苗ハウスを活用し、トルコギキョウ、ストック等の栽培をしているが、品種増加に取り組むとともに、空き期間を活用し新たな作物の栽培に取り組むことで品目の多様化と年間を通じたハウスの活用を図る。

果樹については、近年、日和田地区において、ブドウの生産者が増え、更に生産をしてみたい人も増加傾向にあるので、地域内での新たに取組む作物に位置づけし、地域内で技術や知識を共有することなど積極的に地域で支援していく。

- ・鳥獣被害が増加しないよう、土地所有者も農地の管理者として堀払いに参加してもらう事を提案し、地域で農地を保全するように話し合う場を開催する。
- ・持続的に営農できるような環境整備として、基盤整備の活用を要望する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、認定新規就農者、農業法人、集落営農法人)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	39.5	%	将来の目標とする集積率	80	%
--------	------	---	-------------	----	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

令和11年度 団地面積の拡大を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

地域の農業を担う者に農地の集積・集約化をすすめ、団地面積の拡大を進めるとともに、農作業の省力化を図る。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

地区内の農地所有者が離農するなどの場合には農地中間管理機構等を活用し、機構に貸付を進めていく。

また、農業を担う者が何らかの事情により営農の継続が困難になった場合には農地中間管理機構の機能を活用して、新たな受け手へ農地の貸付を進め、農地が荒廃しないよう努めていく。

(3) 基盤整備事業への取組

基盤整備未実施の地区は、面積が小さい耕地などであり、借り手がなく農地の遊休化が進んでいるため、基盤整備を要望する声が多い。将来に向けて、ほ場整備等の取組みについて地域内での話合いを開催することや、行政機関等に要望等を行う等、今まで以上に働きかけを進めていく。

多面的機能支払組織も活用し、農道・用排水路等の維持管理及び整備等を継続していき、担い手が効率的な農作業を行っていただける環境を整えていく。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

農地を次の世代に引き継げるよう、話合いの場を定期的に持ち、地区内の新規就農者・後継者・定年帰農者などの担い手等情報の共有を図るほか、集落内農業者だけでは農地の保全は難しいと判断した際には、集落外からの入者について農業を担う者に加えていき、地域ぐるみで技術などの支援を行うとともに、担い手確保・育成に努める。

また、農業用機械や施設等の導入、更新等の際には補助事業等を活用するとともに、機械の共同利用なども積極的に検討していく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

地域内で農業支援サービス事業体等へ委託できる作業で可能なものがあれば順次委託することを検討する。

☒	①鳥獣被害防止対策	☒	②有機・減農業・減肥料	☒	③スマート農業	☒	④畑地化・輸出等	☒	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☒	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携	☐	⑩その他

①鳥獣被害が拡大しないよう防止柵等を設置に向け行政と連携し検討するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制構築を行うことや点検マップの作成を行い、遊休農地の解消に努める。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。

②有機農業等の取組みについては近隣農家の理解も必要であり、地区としての取組みとして進めるべきか検討を進める。

③農作業の効率化を図るため、地域内でスマート農業を取組むことについて検討していく。

④販路拡大に向けた対策として、輸出米等も含めて検討していく。

⑤ぶどうの生産において、地域内での新たに取組む作物に位置づけし、地域内で技術や知識を共有することなど積極的に地域で支援していく。

⑦⑧用排水路の維持管理には農業者のみならず農地を管理すべき農地所有者等の地域の方にも参加頂けるように話し合いを行う仕組みを検討し、持続的に営農できるような環境整備図っていく。

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	64経営体		229.3 ha	0 ha		268.6 ha	0 ha		

[illegible]

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

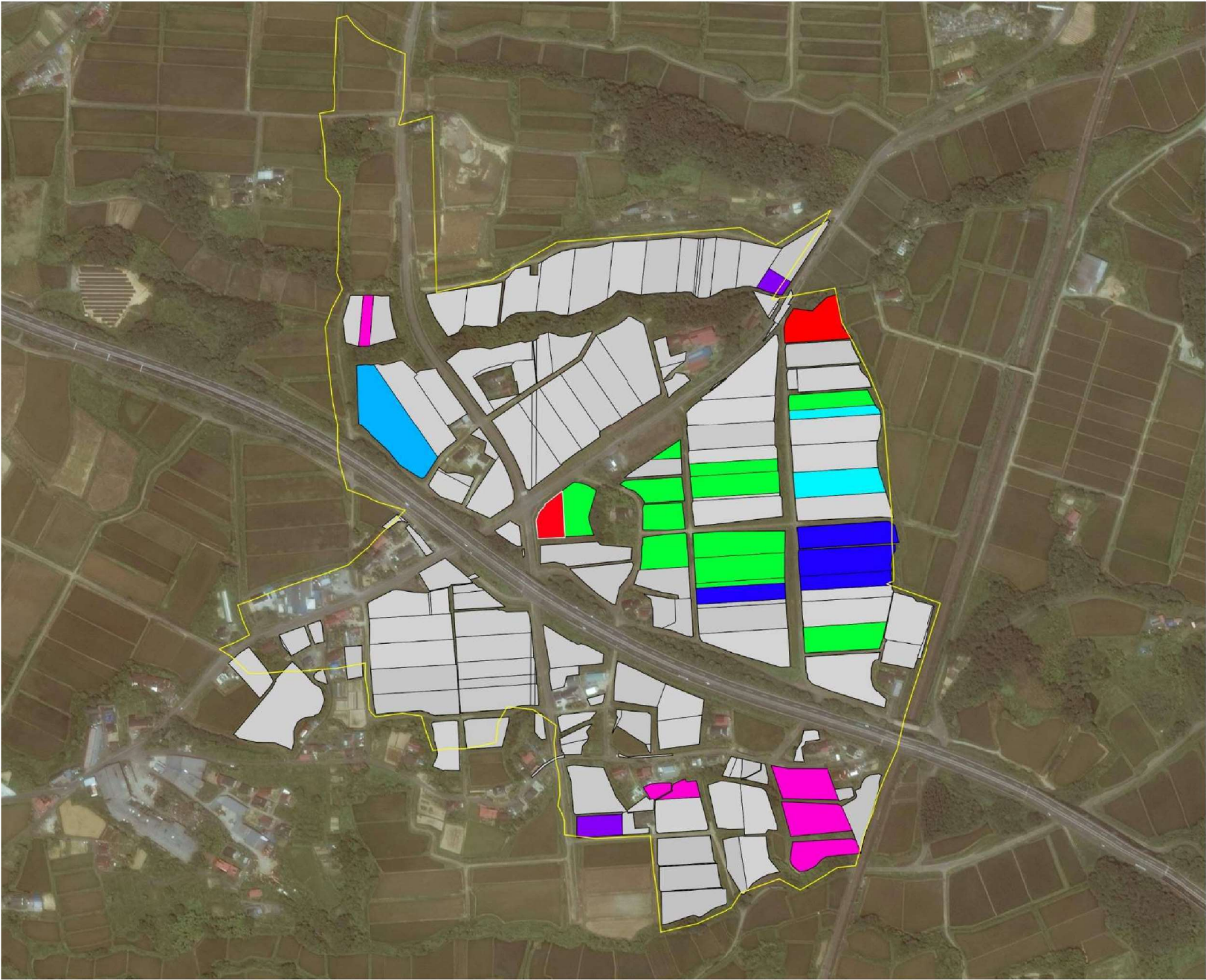
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 11 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託 面積	経営作物等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農 A	稲作＋施設野菜	1.5 ha	ha	稲作＋施設野菜	1.6 ha	ha		
2	認農 B								
3	認農 C	施設野菜	2.9 ha	ha	施設野菜	3.4 ha	ha		
4	認農 D	稲作	6.0 ha	ha	稲作	2.4 ha	ha		
5	認農 E	稲作	2.6 ha	ha	稲作	4.5 ha	ha		
6	認農 F	稲作	3.6 ha	ha	稲作	6.9 ha	ha		
7	認農 G	稲作	11.6 ha	ha	稲作	12.0 ha	ha		
8	認農 H	稲作	5.1 ha	ha	稲作	6.5 ha	ha		
9	認農 I	稲作＋施設野菜	2.1 ha	ha	稲作＋施設野菜	1.9 ha	ha		
10	認農 J	稲作	2.4 ha	ha	稲作	3.8 ha	ha		
11	認農 K	稲作	0.0 ha	ha	稲作	5.7 ha	ha		
12	認農 L	稲作	1.3 ha	ha	稲作	1.3 ha	ha		
13	認農 M	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha		
14	認農 N	稲作＋露地果樹	0.2 ha	ha	稲作＋露地果樹	0.2 ha	ha		
15	認農 O	農産加工	0.5 ha	ha	農産加工	0.5 ha	ha		
16	認農 P	稲作＋肉用牛(繁殖)	0.9 ha	ha	稲作＋肉用牛(繁殖)	0.9 ha	ha		
17	認農 Q	稲作	0.9 ha	ha	稲作	0.9 ha	ha		
18	認農 R	稲作＋施設野菜	0.0 ha	ha	稲作＋施設野菜	0.1 ha	ha		
19	認農 S	稲作	0.3 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha		
20	認農 T	稲作＋和牛繁殖	0.6 ha	ha	稲作＋和牛繁殖	0.6 ha	ha		
21	認農 U	稲作	0.9 ha	ha	稲作	0.9 ha	ha		
22	認農 V	稲作＋施設野菜	2.0 ha	ha	稲作＋施設野菜	2.3 ha	ha		
23	認農 W	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha		
24	認農 X	稲作	1.0 ha	ha	稲作	1.0 ha	ha		
25	認農 Y	稲作	1.0 ha	ha	稲作	1.0 ha	ha		
26	認農 Z	エディブルフラワー＋有機野菜	0.1 ha	ha	エディブルフラワー＋有機野菜	0.1 ha	ha		
27	認農 AA	稲作	2.3 ha	ha	稲作	2.3 ha	ha		
28	認農 AB	肉用牛(肥育)	2.6 ha	ha	肉用牛(肥育)	2.6 ha	ha		
29	認農 AC	稲作＋露地野菜	0.0 ha	ha	稲作＋露地野菜	2.3 ha	ha		
30	認農 AD	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
31	認農 AE	稲作	3.5 ha	ha	稲作	3.4 ha	ha		
32	認農 AF	養鶏	0.6 ha	ha	養鶏	0.6 ha	ha		
33	認農 AG	稲作	1.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
34	認農 AH	稲作＋施設野菜	26.9 ha	ha	稲作＋施設野菜	26.9 ha	ha		
35	認農 AI	稲作＋雑穀・いも類・豆類	30.4 ha	ha	稲作＋雑穀・いも類・豆類	33.9 ha	ha		
36	認農 AJ	その他の作物(菌床しいたけ)＋稲作	27.2 ha	ha	その他の作物(菌床しいたけ)＋稲作	27.2 ha	ha		
37	認農 AK	稲作	27.8 ha	ha	稲作	31.3 ha	ha		
38	認農 AL	稲作	0.0 ha	ha	稲作	4.9 ha	ha		
39	認農 AM	肉用牛(肥育)	0.7 ha	ha	肉用牛(肥育)	1.4 ha	ha		
40	認農 AN	稲作＋露地野菜	0.0 ha	ha	稲作＋露地野菜	1.2 ha	ha		
41	認農 AO	稲作	1.1 ha	ha	稲作	15.3 ha	ha		
42	認農 AP	稲作＋露地野菜	0.2 ha	ha	稲作＋露地野菜	0.2 ha	ha		
43	利用者 AQ	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
44	利用者 AR	稲作	0.9 ha	ha	稲作	0.9 ha	ha		
45	利用者 AS	稲作	0.4 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha		
46	利用者 AT	稲作	2.6 ha	ha	稲作	2.2 ha	ha		
47	利用者 AU	稲作	7.6 ha	ha	稲作	7.4 ha	ha		
48	利用者 AV	稲作	3.1 ha	ha	稲作	3.1 ha	ha		
49	利用者 AW	稲作	3.5 ha	ha	稲作	3.5 ha	ha		
50	利用者 AX	稲作	4.0 ha	ha	稲作	2.6 ha	ha		
51	利用者 AY	稲作	2.3 ha	ha	稲作	2.3 ha	ha		
52	利用者 AZ	稲作	2.0 ha	ha	稲作	2.0 ha	ha		
53	利用者 BA	稲作＋施設野菜	4.1 ha	ha	稲作＋施設野菜	4.1 ha	ha		
54	利用者 BB	稲作＋露地野菜	0.0 ha	ha	稲作＋露地野菜	0.1 ha	ha		
55	利用者 BC	稲作＋露地野菜	2.6 ha	ha	稲作＋露地野菜	2.6 ha	ha		
56	利用者 BD	稲作＋露地野菜	4.1 ha	ha	稲作＋露地野菜	4.1 ha	ha		
57	利用者 BE	稲作＋露地野菜	2.1 ha	ha	稲作＋露地野菜	2.9 ha	ha		
58	利用者 BF	稲作＋露地野菜	1.1 ha	ha	稲作＋露地野菜	1.1 ha	ha		
59	利用者 BG	稲作＋露地野菜	2.7 ha	ha	稲作＋露地野菜	3.8 ha	ha		
60	利用者 BH	稲作＋露地野菜	1.8 ha	ha	稲作＋露地野菜	1.8 ha	ha		
61	利用者 BI	稲作＋露地野菜	1.3 ha	ha	稲作＋露地野菜	1.3 ha	ha		
62	利用者 BJ	稲作＋露地野菜	0.4 ha	ha	稲作＋露地野菜	0.4 ha	ha		
63	利用者 BK	稲作＋露地野菜	0.5 ha	ha	稲作＋露地野菜	0.5 ha	ha		
64	利用者 BL	稲作＋露地野菜	6.4 ha	ha	稲作＋露地野菜	6.4 ha	ha		
65	利用者 BM	稲作＋野菜	1.9 ha	ha	稲作＋野菜	2.1 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0804	日和田町	【プラン】日和田町衛門次郎	2025/9/18



個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

Red, Pink, Purple, Blue, Cyan, Green

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

Red

上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0811	日和田町	【集落】日和田町_006_川坂	2025/9/18



個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

田村地区

地域計画

策定年月日	令和7年2月27日
更新年月日	2025/11/ (第1回目)
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	福島県郡山市 07203
地域名 (地域内農業集落名)	田村地区 (守山、岩作、大供、細田、金沢、山中、大善寺、徳定、御代田、正直、下道渡、上道渡、 谷田川、田母神、糠塚、栃本、栃山神、川曲、下行合、上行合、金屋、手代木、小川)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	1,927 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	1,927 ha
② 田の面積	1,100 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	825 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	188 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	146 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

田村地区は、農業者の平均年齢69.15歳と高齢化が進み、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。

このため、分散する担い手の農地を集約するとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

- ・小区画の農地が多く、農業用道路が荒れていることなどにより作業性が悪い。
また畦畔や法面の面積が大きいため除草作業の労力が多大である。
- ・地域で協力して取り組んでいるが、離農者も増加傾向にあり耕作放棄地が増えている。
- ・用水不足により作付けできない田がある。
- ・ほ場が粘土質の場合もあることから、基盤整備を行うことや作業性の改善も含め、根本的な土壌改良を行うことを検討する必要性がある。
- ・鳥獣被害(イノシシ、ハクビシン、アライグマ、アナグマ、タヌキ、サル等)が増加している。
- ・農業の生産コストが上昇しているが、農作物の価格が安いいためモチベーションが上がらない。
- ・現状、用水の堀払いに人員が足りない状態であり、近い将来、農業をリタイアしたい人が更に増加していくことが想定され、規模拡大を希望する人が少なくなることによる用排水路等の維持していくことについて強い不安がある。
- ・中山間地区の割合が多く、平地と比べて機械化や大規模化の対応が難しい。
- ・気候変動に伴う農業害虫の被害が増加傾向にある。
- ・気候変動に伴う高温障害に対応出来るよう、地域において、品種の選定や水稻の栽培方法も省力化のため乾田直播も検討をはじめている。
- ・イチジクの生産拡大を進めているが、カミキリムシによる被害が不安である。
- ・近くに産地直売所がない。

【地域の基礎的データ】

農業者:926人(うち50歳代以下90人) ※農林業センサス2020より

団体経営体(法人・集落営農組織等) 16経営体

主な作物:水稻、露地野菜(ネギ、ニンジン、エダマメ、カブ、サヤインゲン)、施設野菜(キュウリ、トマト)、
果樹(イチジク、蜂屋柿)、葉タバコ、花き、畜産(肉用牛)、きのこ類 等

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

認定新規就農者等地域内の後継者の積極的な育成を図ることや、機械の共同利用やリースなども積極的に検討していくこと及び地域内で法人が多く設立されている地区であるため今まで以上に情報等を連携できるようにすることなどにより後継者の安定した確保を図るとともに、担い手への農地集約化のため、農業を担う者への農地再分配を進めることができるよう、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

また、地域の所得向上等の観点から、地域の話合いにより、ブランド化を図ることや6次化製品の開発等の当地区の特色を出す取組みを行うことを積極的に検討する。

なお、地区内に日本大学工学部があることから産学官連携を図ることや、農福連携に取り組んでいく事で、地域農業の活性化を図ることを地域の話合いによって進めていく。

- ・集落により獣害被害の状況は異なるが、引き続き、電気柵を設置したり猟友会と連携を図っていく。
- ・様々な課題解決に向けて基盤整備事業が手段として有効性が高いと判断しており、ある集落をモデル事業として先行して進め、田村地区全体で基盤整備を取組めるよう、話合いにおいて地主等の地域の方にも理解を頂きながら検討・対応を進めていく。
- ・地域で取組む新規作物としてイチジクの規模拡大を図る。
- ・労働力解消に向けて、定期的な話合いにより地域外の方や異業種の方など様々な方にもご理解及びご協力頂きつつ、労働力を確保しながら地域農業の活性化を図っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、認定新規就農者、農業法人、集落営農法人)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	39.5	%	将来の目標とする集積率	80	%
--------	------	---	-------------	----	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

令和11年度 団地面積の拡大を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

地域の農業を担う者に対して土壌条件等も考慮しながら農地の集積・集約化をすすめ、団地面積の拡大を進めるとともに、農作業の省力化を図る。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

地域の農業を担う者に対して土壌条件等も考慮しながら農地の集積・集約化をすすめ、団地面積の拡大を進めるとともに、農作業の省力化を図る。

(3) 基盤整備事業への取組

基盤整備未実施の地区は、借り手がなく農地の遊休化が進んでいるため、将来に向けてほ場整備等の取組みを検討していく。多面的機能支払組織も活用し、農道・用排水路等の維持管理等を継続していき、担い手が効率的な農作業を行っていきける環境を整えていく。

なお、基盤整備実施の地区においても、排水性等の土壌改良を含め、再整備についても検討する必要がある。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

農地を次の世代に引き継げるよう、話合いの場を定期的に持ち、地区内の新規就農者・後継者・定年帰農者などの担い手等情報の共有を図るほか、担い手が確保ができた場合には、地域ぐるみで技術や機械などの支援を行っていく。集落内農業者だけでは農地の保全は難しいと判断した際には、集落外からの入作者について農業を担う者に加えていき、地域ぐるみでベテラン農業者を中心として技術などの支援を行うと同時に、農地に近い空家を提供・紹介することなどにより、地域として担い手確保・育成に努める。

また、農業用機械や施設等の導入、更新等の際には補助事業等を活用するとともに、機械の共同利用なども積極的に検討していく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

地域内で農業支援サービス事業者等へ委託できる作業で可能なものがあれば順次委託することを検討する。

☒	①鳥獣被害防止対策	☒	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☒	④畑地化・輸出等	☒	⑤果樹等
☒	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☒	⑧農業用施設	☒	⑨耕畜連携	☒	⑩その他

- ①鳥獣被害が拡大しないよう防止柵等を設置に向け行政と連携し検討するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制構築を行うことや点検マップの作成を行い、遊休農地の解消に努める。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。
- ③農作業の効率化等を図るため、地域内でスマート農業の取り組みについて検討していく。
- ⑤遊休農地解消を目的としてイチジクの生産を地区で支援していく。
- ④⑥地域で輸出用米粉等を取り組むことについて検討を行い、地域内の農業所得の向上を図る。
- ⑦⑧既存の多面的機能支払組織等の活動を継続することにより、農道、用排水路等の維持管理を行い、地域共同で同一品目で面積拡大により産地形成を図る。また、ため池の改修や浚渫(しゅんせつ)等も併せて検討していく。
- ②⑨耕畜連携等(循環型農業)については、堆きゅう肥や廃菌床の活用も含め、地域内で積極的に検討を進めていく。
- ⑩災害等への対策について
近年多発している災害や、気候変動による農業生産への影響が大きくなっており、産地として持続的に営農活動が行えるよう関係機関と連携しながら対策を行っていく。
- ⑩目標地図を定期的に見直し、山際の農地は景観を良くする活動を行うことや山に戻すことも含め、地域内で積極的に検討を進めていく。

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	106経営体		238.6 ha	0 ha		384.4 ha	0 ha		

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

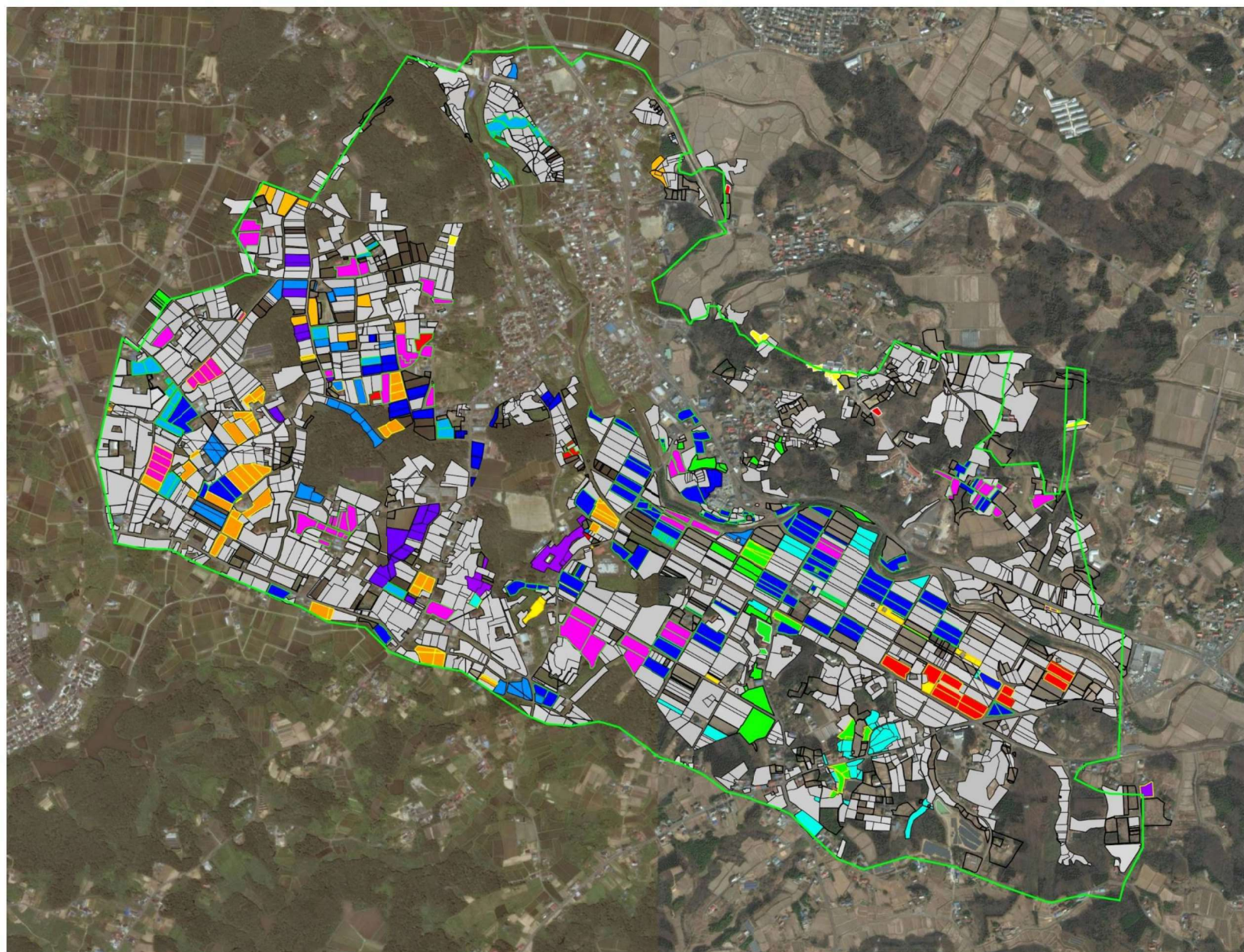
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農 A	果樹類	3.3 ha	ha	果樹類	3.3 ha	ha		
	B								
2	認農 C	稲作＋露地野菜	2.6 ha	ha	稲作＋露地野菜	7.1 ha	ha		
	D								
3	認農 E	稲作＋肉用牛(肥育)	2.8 ha	ha	稲作＋肉用牛(肥育)	6.3 ha	ha		
	F								
4	認農 G	稲作	1.8 ha	ha	稲作	6.2 ha	ha		
5	認農 H	稲作＋施設野菜	4.2 ha	ha	稲作＋施設野菜	4.6 ha	ha		
6	認農 I	施設野菜＋露地野菜	0.0 ha	ha	施設野菜＋露地野菜	0.7 ha	ha		
7	認農 J	肉用牛	1.9 ha	ha	肉用牛	1.9 ha	ha		
8	認農 K	稲作＋施設野菜	6.5 ha	ha	稲作＋施設野菜	19.6 ha	ha		
9	認農 L	複合経営	2.9 ha	ha	複合経営	4.4 ha	ha		
10	認農 M	稲作＋繁殖牛	1.2 ha	ha	稲作＋繁殖牛	4.0 ha	ha		
11	認農 N	稲作	3.5 ha	ha	稲作	3.5 ha	ha		
12	認農 O	稲作	1.6 ha	ha	稲作	10.2 ha	ha		
13	認農 P	稲作＋肉用牛(肥育)	5.5 ha	ha	稲作＋肉用牛(肥育)	16.5 ha	ha		
14	認農 Q	稲作	2.6 ha	ha	稲作	5.1 ha	ha		
15	認農 R	稲作	3.4 ha	ha	稲作	3.4 ha	ha		
16	認農 S	稲作	3.0 ha	ha	稲作	2.9 ha	ha		
17	認農 T	稲作	1.5 ha	ha	稲作	1.7 ha	ha		
18	認農 U	稲作＋露地野菜	3.5 ha	ha	稲作＋露地野菜	4.5 ha	ha		
19	認農 V	肉用牛＋施設野菜	0.0 ha	ha	肉用牛＋施設野菜	1.6 ha	ha		
20	認農 W	稲作＋葉たばこ	1.6 ha	ha	稲作＋葉たばこ	2.0 ha	ha		
21	認農 X	稲作＋施設野菜	1.6 ha	ha	稲作＋施設野菜	2.4 ha	ha		
22	認農 Y	施設野菜＋露地野菜	0.7 ha	ha	施設野菜＋露地野菜	0.3 ha	ha		
23	認農 Z	肉用牛(肥育)	0.0 ha	ha	肉用牛(肥育)	2.7 ha	ha		
24	認農 AA	施設野菜＋露地野菜	0.8 ha	ha	施設野菜＋露地野菜	0.8 ha	ha		
25	認農 AB	稲作＋施設野菜	0.7 ha	ha	稲作＋施設野菜	2.9 ha	ha		
26	認農 AC	施設野菜＋露地野菜	0.8 ha	ha	施設野菜＋露地野菜	0.5 ha	ha		
27	認農 AD	稲作	2.8 ha	ha	稲作	2.7 ha	ha		
28	認農 AE	稲作	1.3 ha	ha	稲作	1.3 ha	ha		
29	認農 AF	稲作＋施設野菜	3.5 ha	ha	稲作＋施設野菜	7.9 ha	ha		
30	認農 AG	稲作＋露地野菜	3.0 ha	ha	稲作＋露地野菜	6.4 ha	ha		
31	認農 AH	稲作＋加工品販売	0.0 ha	ha	稲作＋加工品販売	0.1 ha	ha		
32	認農 AI	稲作＋施設野菜	2.1 ha	ha	稲作＋施設野菜	2.2 ha	ha		
33	認農 AJ	稲作＋施設野菜	1.7 ha	ha	稲作＋施設野菜	2.0 ha	ha		
34	認農 AK	酪農	2.6 ha	ha	酪農	8.0 ha	ha		
35	認農 AL	肉用牛(肥育)	2.2 ha	ha	肉用牛(肥育)	1.5 ha	ha		
36	認農 AM	稲作	1.8 ha	ha	稲作	2.2 ha	ha		
37	認農 AN	肉用牛(肥育)	0.5 ha	ha	肉用牛(肥育)	0.5 ha	ha		
38	認農 AO	肉用牛(繁殖)	0.0 ha	ha	肉用牛(繁殖)	0.1 ha	ha		
39	認農 AP	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
40	認農 AQ	稲作	4.4 ha	ha	稲作	4.4 ha	ha		
41	認農 AR	稲作＋施設野菜	0.1 ha	ha	稲作＋施設野菜	0.1 ha	ha		
42	認農 AS	稲作＋露地野菜	0.2 ha	ha	稲作＋露地野菜	0.2 ha	ha		
43	認農 AT	施設野菜＋その他(加工)	0.2 ha	ha	施設野菜＋その他(加工)	0.2 ha	ha		
44	認農 AU	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.4 ha	ha		
45	認農 AV	酪農	0.0 ha	ha	酪農	2.9 ha	ha		
46	認農 AW	稲作＋施設花き	2.1 ha	ha	稲作＋施設花き	2.7 ha	ha		
47	認農 AX	施設野菜	1.8 ha	ha	施設野菜	3.0 ha	ha		
48	認農 AY	稲作	23.3 ha	ha	稲作	24.2 ha	ha		
49	認農 AZ	稲作	21.1 ha	ha	稲作	36.2 ha	ha		
50	認農 BA	稲作＋施設野菜	0.6 ha	ha	稲作＋施設野菜	1.6 ha	ha		
51	認農 BB	稲作	2.8 ha	ha	稲作	4.0 ha	ha		
52	認農 BC	露地野菜	4.5 ha	ha	露地野菜	25.3 ha	ha		
53	認農 BD	その他作物	0.0 ha	ha	その他作物	0.2 ha	ha		
54	認農 BE	稲作＋露地野菜	1.4 ha	ha	稲作＋露地野菜	2.1 ha	ha		
55	認農 BF	稲作＋露地野菜	0.0 ha	ha	稲作＋露地野菜	1.9 ha	ha		
56	認農 BG	肉用牛(肥育)	2.7 ha	ha	肉用牛(肥育)	3.6 ha	ha		
57	認農 BH	その他作物	14.3 ha	ha	その他作物	15.7 ha	ha		
58	認農 BI	養豚	0.0 ha	ha	養豚	0.0 ha	ha		農地なし
59	認農 BJ	露地野菜	3.0 ha	ha	露地野菜	4.9 ha	ha		
60	認農 BK	その他の畜産	0.0 ha	ha	その他の畜産	0.0 ha	ha		農地なし
61	認就 BL	稲作	2.0 ha	ha	稲作	4.0 ha	ha		
62	認就 BM	露地野菜	1.7 ha	ha	露地野菜	1.6 ha	ha		
63	認就 BN	リンゴ＋ブドウ	2.0 ha	ha	リンゴ＋ブドウ	2.3 ha	ha		
64	認就 BO	施設野菜＋露地野菜	0.3 ha	ha	施設野菜＋露地野菜	0.3 ha	ha		
65	認就 BP	稲作＋きゅうり	2.5 ha	ha	稲作＋きゅうり	2.5 ha	ha		
66	認就 BQ	露地野菜	0.5 ha	ha	露地野菜	0.5 ha	ha		
67	認就 BR	稲作イチジク＋ブドウ＋ほうれん草	1.5 ha	ha	稲作イチジク＋ブドウ＋ほうれん草	4.7 ha	ha		
68	認就 BS	施設野菜＋露地野菜	0.3 ha	ha	施設野菜＋露地野菜	1.1 ha	ha		
69	利用者 BT	稲作	2.1 ha	ha	稲作	1.7 ha	ha		
70	利用者 BU	稲作	0.0 ha	ha	稲作	3.8 ha	ha		
71	利用者 BV	稲作	1.6 ha	ha	稲作	3.6 ha	ha		
72	利用者 BW	稲作	3.3 ha	ha	稲作	4.2 ha	ha		
73	利用者 BX	稲作	1.5 ha	ha	稲作	1.5 ha	ha		
74	利用者 BY	稲作	1.9 ha	ha	稲作	1.9 ha	ha		
75	利用者 BZ	稲作	5.1 ha	ha	稲作	5.1 ha	ha		
76	利用者 CA	稲作	1.6 ha	ha	稲作	2.9 ha	ha		
77	利用者 CB	稲作	2.2 ha	ha	稲作	2.7 ha	ha		
78	利用者 CC	稲作	3.7 ha	ha	稲作	4.1 ha	ha		
79	利用者 CD	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.8 ha	ha		
80	利用者 CE	稲作	2.6 ha	ha	稲作	2.8 ha	ha		
81	利用者 CF	稲作	2.4 ha	ha	稲作	2.4 ha	ha		
82	利用者 CG	稲作	1.4 ha	ha	稲作	1.4 ha	ha		
83	利用者 CH	稲作	1.8 ha	ha	稲作	1.8 ha	ha		

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
84	利用者	CI	稲作	1.4 ha	稲作	1.4 ha	ha		
85	利用者	CJ	稲作	0.6 ha	稲作	1.1 ha	ha		
86	利用者	CK	稲作	0.0 ha	稲作	0.1 ha	ha		
87	利用者	CL	稲作	1.9 ha	稲作	1.9 ha	ha		
88	利用者	CM	稲作	1.4 ha	稲作	0.9 ha	ha		
89	利用者	CN	稲作	0.9 ha	稲作	2.6 ha	ha		
90	利用者	CO	稲作	0.3 ha	稲作	1.3 ha	ha		
91	利用者	CP	稲作	0.4 ha	稲作	0.4 ha	ha		
92	利用者	CQ	稲作	0.4 ha	稲作	0.4 ha	ha		
93	利用者	CR	稲作	0.6 ha	稲作	0.6 ha	ha		
94	利用者	CS	肉用牛(繁殖)＋エ芸農作物(葉タバコ)	0.8 ha	肉用牛(繁殖)＋エ芸農作物(葉タバコ)	0.8 ha	ha		
95	利用者	CT	稲作＋施設トマト・野菜	2.2 ha	稲作＋施設トマト・野菜	2.6 ha	ha		
96	利用者	CU	稲作＋施設野菜	0.1 ha	稲作＋施設野菜	0.1 ha	ha		
97	利用者	CV	稲作＋野菜	7.8 ha	稲作＋野菜	7.8 ha	ha		
98	利用者	GW	稲作＋野菜	4.3 ha	稲作＋野菜	4.3 ha	ha		
99	利用者	CX	稲作＋野菜	3.8 ha	稲作＋野菜	3.7 ha	ha		
100	利用者	CY	稲作＋野菜	1.4 ha	稲作＋野菜	1.4 ha	ha		
101	利用者	CZ	稲作＋野菜	2.9 ha	稲作＋野菜	2.9 ha	ha		
102	利用者	DA	稲作＋野菜	0.7 ha	稲作＋野菜	0.7 ha	ha		
103	利用者	DB	ニンニク	0.0 ha	ニンニク	0.7 ha	ha		
104	利用者	DC	ニンニク	0.5 ha	ニンニク	0.5 ha	ha		
105	利用者	DD	酪農	1.8 ha	酪農	1.5 ha	ha		
106	利用者	DE	酪農	0.0 ha	酪農	0.9 ha	ha		
107			ha	ha		ha	ha		

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
1209 1210	田村町	【集落】 守山町_001_守山 【集落】 守山町_002_岩作	2025/9/18



個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

■ 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

西田地区

地域計画

策定年月日	令和7年2月27日
更新年月日	2025/11/ (第2回目)
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	福島県郡山市 07203
地域名 (地域内農業集落名)	西田地区 (芹沢、根木屋、鬼生田3区、鬼生田2区、鬼生田1区、鬼生田4区、三町目平、三町目中央、三町目上、大田、李田、宮田、木村、板橋、丹伊田、高柴、土棚)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	741 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	741 ha
② 田の面積	342 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	397 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	99 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	16 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

西田地区は、農業者の平均年齢70.32歳と高齢化が進み、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。

このため、分散する担い手の農地を集約化するとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

- ・有害鳥獣(ハクビシン、アライグマ、ミンク、タヌキ、カラス等)の被害が増加傾向にある。
- ・市内他地区と比べて農業者の高齢化が進み担い手も減少傾向にあり、特に水稻を
行う農業者が減少していく事が想定される。
- ・直売所向け野菜を生産している人が増えてきている。
- ・今後の気候変動に対応できるよう水源の確保が必要であるが、現時点では緊急での
対応を要するような状況とはなっていない。
- ・地目が畑の農地は基盤整備等が未実施のエリアが多く、年々荒れてきている状態である。
- ・高齢化が進んでおり、担い手不足が加速化している。
- ・小区画で農地への接道状況等が悪いなど、効率的に作業がしにくい農地が多い。
- ・用排水路の維持管理には、中山間や多面の方にも参加いただいて地域で維持している
状況であるが、今後は土地の管理者である地主等にも参加いただき地域で農地を維持
していく必要性を感じている。

【地域の基礎的データ】

農業者: 285人(うち50歳代以下17人)

団体経営体(法人・集落営農組織等)8経営体

主な作物: 水稻、畜産(肉用牛)、大豆、麦、野菜(ナス、ピーマン、アスパラガス、
さつまいも、ブロッコリー)、果樹(梅)、花き、きのこ等

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

市内他地区と比べて高齢化が進んでいることから、認定新規就農者等地域内の後継者の育成や、地域内での機械の共同利用なども積極的に検討していくことや、地域内で法人を設立することで後継者の確保を図るとともに、担い手への農地集約化のため、農業を担う者への農地再分配を進めることができるよう、入作者も含め、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

また、地域の所得向上等の観点から、地域の話合いにより、観光化やブランド化を図ることや6次化製品の開発等の当地区の特色を出す取組みを行うことを積極的に検討する。

・一つ一つの圃場が小区画であることや、担い手減少となっていることなどから、基盤整備事業を活用した農地の維持を地域として検討を進めていく。その際には、新規就農支援ゾーン、ベテラン農業者ゾーン、小規模農業者ゾーン、法人ゾーンなどのゾーニングを行っていくことを、農業者のみならず、地主や地域の方で話合って地域農業の活性化を図っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、認定新規就農者、農業法人、集落営農法人)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	39.5	%	将来の目標とする集積率	80	%
--------	------	---	-------------	----	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

令和11年度 団地面積の拡大を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

地域の農業を担う者に農地の集積・集約化をすすめ、団地面積の拡大を進めるとともに、農作業の省力化を図る。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

地区内の農地所有者が離農するなどの場合には農地中間管理機構等を活用し、機構に貸付を進めていく。

また、農業を担う者が何らかの事情により営農の継続が困難になった場合には農地中間管理機構の機能を活用して、新たな受け手へ農地の貸付を進め、農地が荒廃しないよう努めていく。

(3) 基盤整備事業への取組

基盤整備未実施の地区は、借り手がなく農地の遊休化が進んでいるため、将来に向けてほ場整備等の取組みを検討していく。多面的機能支払組織も活用し、農道・用排水路等の維持管理等を継続していき、担い手が効率的な農作業を行っていく環境を整えていく。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

農地を次の世代に引き継げるよう、話合いの場を定期的に持ち、地区内の新規就農者・後継者・定年帰農者などの担い手等情報の共有を図るほか、集落内農業者だけでは農地の保全は難しいと判断した際には、集落外からの入作者や農業参入の事業者等についても農業を担う者に加えていき、地域ぐるみで技術などの支援を行う受皿を整備するとともに、担い手確保・育成に努める。

また、農業用機械や施設等の導入、更新等の際には補助事業等を活用するとともに、地域内での機械の共同利用なども積極的に検討していく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

地域内で農業支援サービス事業体等へ委託できる作業で可能なものがあれば順次委託することを検討する。

☒	①鳥獣被害防止対策	☒	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☒	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☒	⑨耕畜連携	☒	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害が拡大しないよう防止柵等を設置に向け行政と連携し検討するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制構築を行うことや点検マップの作成を行い、遊休農地の解消に努める。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。

②⑨耕畜連携等(循環型農業)については、地域全体での減農薬も含め、地域内で積極的に検討を進めていく。

③農作業の効率化等を図るため、地域内でスマート農業の取り組みについて検討していく。

⑤観光資源(梅)を中心とした地域農業の活性化を図ることを地域の話合いによって進めていく。

⑦用排水路に維持管理については、現状は多面事業や中山間の事業を活用しているが、今後は、農業者のみならず地域で対応する必要がある、定期的な話合いにより検討を重ねていきたい。

⑩地域内農産物の販路拡大として、ネット販売も視野に入れ、地域の話合いの場において積極的に検討していく。

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	40経営体		44.1 ha	0 ha		60.4 ha	0 ha		

5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

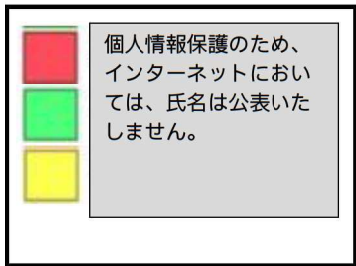
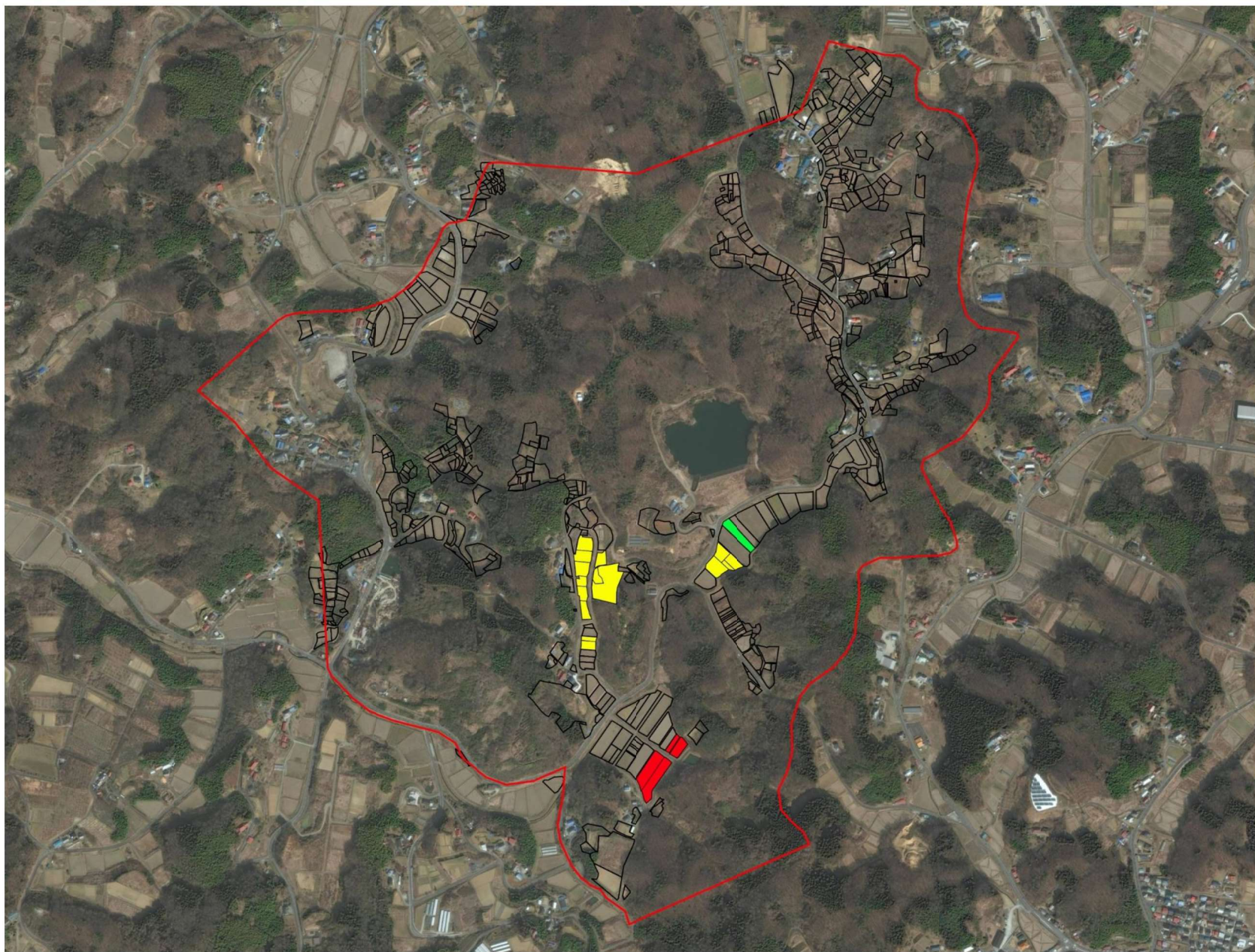
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付けける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農 A	稲作	6.8 ha	ha	稲作	9.4 ha	ha		
	B								
2	認農 C	稲作+肉用牛(繁殖)+露地野菜	0.0 ha	ha	稲作+肉用牛(繁殖)+露地野菜	5.3 ha	ha		
3	認農 D	稲作+露地野菜	0.6 ha	ha	稲作+露地野菜	0.6 ha	ha		
4	認農 E	稲作+露地野菜	2.7 ha	ha	稲作+露地野菜	4.1 ha	ha		
5	認農 F	露地野菜	0.0 ha	ha	露地野菜	2.7 ha	ha		
6	認農 G	稲作+露地野菜	2.2 ha	ha	稲作+露地野菜	0.5 ha	ha		
7	認農 H	肉用牛(繁殖)	0.0 ha	ha	肉用牛(繁殖)	0.1 ha	ha		
8	認農 I	稲作+肉用牛(繁殖)	1.0 ha	ha	稲作+肉用牛(繁殖)	1.7 ha	ha		
9	認農 J	露地野菜	1.2 ha	ha	露地野菜	0.3 ha	ha		
10	認農 K	稲作+肉用牛(繁殖)	2.4 ha	ha	稲作+肉用牛(繁殖)	2.3 ha	ha		
11	認農 L	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
12	認農 M	稲作	1.3 ha	ha	稲作	1.9 ha	ha		
13	認農 N	肉用牛(繁殖)	1.6 ha	ha	肉用牛(繁殖)	1.6 ha	ha		
14	認農 O	稲作	2.4 ha	ha	稲作	1.6 ha	ha		
15	認農 P	露地野菜	0.8 ha	ha	露地野菜	0.4 ha	ha		
16	認農 Q	露地野菜+施設野菜	1.3 ha	ha	露地野菜+施設野菜	1.1 ha	ha		
17	認農 R	肉用牛(繁殖)	0.0 ha	ha	肉用牛(繁殖)	3.2 ha	ha		
18	認農 S	その他の作物(栽培きのこ)	0.0 ha	ha	その他の作物(栽培きのこ)	0.7 ha	ha		
19	認農 T	花き・花木	0.1 ha	ha	花き・花木	0.1 ha	ha		
20	認農 U	稲作+露地野菜	0.0 ha	ha	稲作+露地野菜	0.5 ha	ha		
21	認農 V	露地野菜+施設野菜	0.9 ha	ha	露地野菜+施設野菜	0.9 ha	ha		
22	認就 W	にんにく	0.8 ha	ha	にんにく	0.6 ha	ha		
23	認就 X	露地野菜	2.0 ha	ha	露地野菜	2.0 ha	ha		
24	認就 Y	稲作+野菜	2.1 ha	ha	稲作+野菜	2.1 ha	ha		
25	認就 Z	その他の作物(きのこ菌床栽培)	0.7 ha	ha	その他の作物(きのこ菌床栽培)	1.9 ha	ha		
26	利用者 AA	稲作	0.0 ha	ha	稲作	2.1 ha	ha		
27	利用者 AB	稲作	1.8 ha	ha	稲作	1.4 ha	ha		
28	利用者 AC	稲作	1.2 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha		
29	利用者 AD	稲作	0.8 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
30	利用者 AE	稲作	1.5 ha	ha	稲作	1.4 ha	ha		
31	利用者 AF	稲作	0.3 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha		
32	利用者 AG	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.7 ha	ha		
33	利用者 AH	稲作+露地野菜	0.0 ha	ha	稲作+露地野菜	0.8 ha	ha		
34	利用者 AI	畑	2.5 ha	ha	畑	0.3 ha	ha		
35	利用者 AJ	施設野菜	0.0 ha	ha	施設野菜	0.2 ha	ha		
36	利用者 AK	稲作+野菜	2.1 ha	ha	稲作+野菜	2.5 ha	ha		
37	利用者 AL	稲作	2.7 ha	ha	稲作	2.4 ha	ha		
38	利用者 AM	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha		
39	利用者 AN	露地野菜	0.0 ha	ha	露地野菜	1.4 ha	ha		
40	利用者 AO	稲作	0.3 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha		
41			ha	ha		ha	ha		

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
1317	西田町	【集落】高野村_016_高柴	2025/9/18



上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討